

・調査日

平成22年1月26日（火）～28日（木）
平成23年1月25日（火）～27日（木）

・調査対象時間帯

各ターミナルのオープンからターミナルの営業が終了するまで

・調査対象ターミナル

東京港大井地区4コンテナターミナル（（株）ダイトーコーポレーション、国際コンテナターミナル（株）、東海運（株）、日本郵船東京コンテナターミナル）

・コンテナターミナルにおけるゲートトラブル状況の調査

本調査では、ゲートクレーンがゲートトラブルであると判断した場合や、ゲートクレーンとドライバーとの間でコンテナのステータス情報等に関するやり取りが行われる場合をゲートトラブルと定義し、搬出時のゲートトラブル状況の現地調査を行い、昨年度結果との比較を行いました。

その結果、搬出時のトラブル発生率^{※1}は、4コンテナターミナルの3日間合計で

5.9%から**5.4%**へ減少しています。（表-1）

表-1 4コンテナターミナルの3日間合計のトラブル発生率

	平成21年度	平成22年度
ゲートを通過した総トレーラー台数	6,778台	7,514台
トラブルを起こしたトレーラー台数	400台	409台
トラブル発生率	5.9%	5.4%

また、要因ごとのトラブル発生率を比較すると、Colinsで情報提供している「料金決済未了」「税関手続き未了」「D/O未入手」「フリータイム期限切れ」「検査未了」の項目でトラブル発生率は昨年度に比べて減少していることが分かりました。（図-1）

「その他」はシャーシ違い、コンテナ破損、誤記入など、Colinsで情報提供していない要因による。

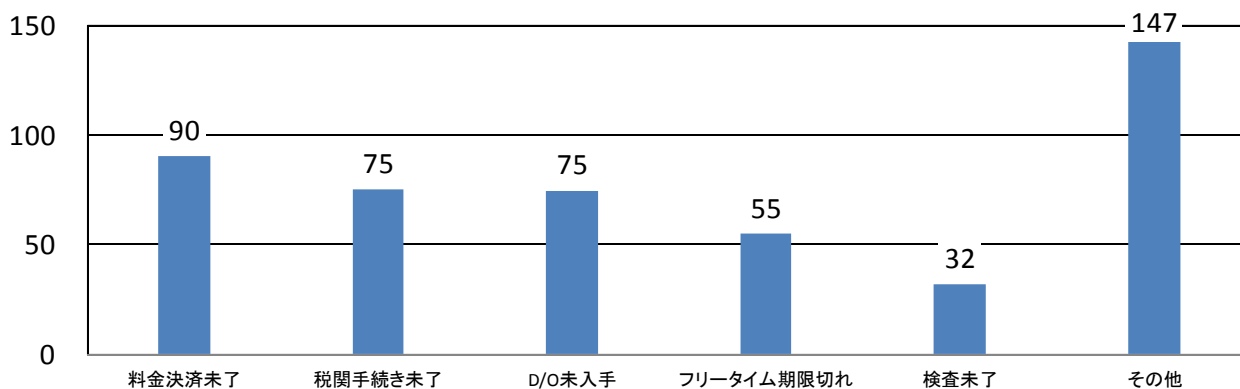


図-1 平成22年度トラブル発生率の要因別変化(平成21年度を100としている)

※1 トラブル発生率とは、トラブルを起こしたトレーラー台数を、ゲートを通過した総トレーラー台数で除した値のこと。

・コンテナターミナルにおける問合せ状況の調査

海貨・陸運等の事業者よりターミナル事業者に対して貨物のステータス、船舶動静、輸出コンテナの搬入確認、輸入コンテナの搬出可否情報についての電話による問合せが発生しています。これらの問合せの状況を把握するため、アンケート調査を行い、昨年度結果との比較を行いました。

その結果、電話問合せ件数は4コンテナターミナルの3日間合計で

2,570件から**1,598件**へ減少しています。(表-2)

表-2 電話問合せ内容別件数

問合せ内容		平成21年度	平成22年度
船舶動静について	入港予定日	729件	426件
	一括搬入日時	544件	307件
	その他(船舶動静関連)	283件	138件
輸入コンテナ搬出可否について	D/O	180件	78件
	フリータイム期限	253件	154件
	デマレージ料金(金額)	114件	83件
	輸入コンテナ搬出可否	202件	110件
	その他(輸入コンテナ搬出可否関連)	170件	137件
輸出コンテナについて	輸出の搬入確認	66件	35件
その他		29件	130件
合計		2570件	1598件

Colins で情報提供している全ての問合せ内容において、電話問合せ件数が昨年度に比べて減少していることが分かりました。(図-2)

「その他」は空バンピックアップオーダー、書類の差し入れ方法、NACCS の操作方法についてなど、Colins で情報提供していない要因による。

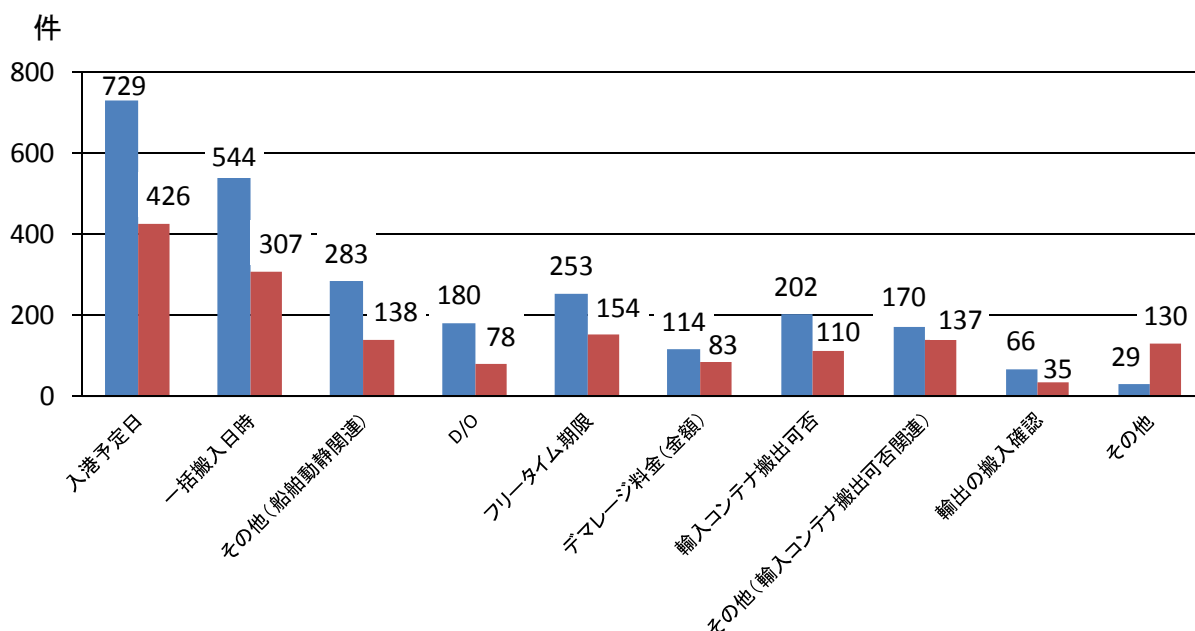


図-2 電話問合せ内容別件数